

令和6年度

公務員専攻科シラバス

専修学校熊本壺溪塾

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
政治I	後藤	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	各分野の基礎知識を講義した後、その分野に関する演習問題を解説して基礎知識を定着させ、応用力を養成する。

授業内容	
第1～5回	民主主義・人権思想・各国の政治制度
第6～13回	憲法・国会・内閣・裁判所
第14～20回	地方自治・選挙制度・行政の民主化
第21～26回	国際法・国際連合・国際政治
第27～30回	問題演習

テキスト	事前学習	事後学習
①オリジナルテキスト ②『新・初級スーパー過去問ゼミ社会科学』（実務教育出版）	不要	必要

評価方法・基準
月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5　3分野正解：4　1～2分野正解：3　それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
経済I	井上	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	需供関係や価格の動き、各経済主体の基本的な活動といった、基本的な経済の構造についての理解を深める。さらに公民そして公務員として必要な、日本が抱えている財政問題、世界のなかでの日本経済の現状についての知識を身につける。とくに地方の財政状況や租税については、今後直面する身近な問題であり、実際の自治体の状況や取り組みを示しながら、公務員としての資質を高めていく。

授業内容
<p>基本となる経済のしくみを講義で学び、単元ごとに頻出する用語を確認する。さらに簡単な文章問題や、テキストおよび過去の問題を解いて正誤を判断し知識を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の市場（需要と供給、市場メカニズム 需要曲線と供給曲線のシフト）2回 ・市場の失敗とその対策（寡占と独占、独占の形態、公共財、外部不経済、情報の非対称性）2回 ・現代の企業（経済主体、企業形態、株式会社のしくみと特徴、企業と社会的責任）3回 ・国民経済と景気変動（フローとストック、国民所得の三面等価 名目GDPと実質GDP、経済循環と物価変動）3回 ・財政政策とその健全化（財政のしくみと機能、一般会計予算、国債発行と依存度、租税とその体系）4回 ・金融のしくみと働き（通貨とその機能、信用創造、日本銀行の金融政策、金融の自由化）4回 ・戦後の日本経済の歴史（戦後復興期、高度経済成長期、プラザ合意とバブル好況の発生、平成不況から現在まで）2回 ・国際経済の枠組み（ブレトンウッズ体制とその崩壊、GATTからWTOへ）4回 ・外国為替と国際収支（円安・円高とその影響 日本国際収支の現状）2回 ・地域的経済結合（EUの成立とイギリスの離脱、その他の経済圏、日本のEPA）4回

テキスト	事前学習	事後学習
『新・初級スーパー過去問ゼミ社会科学』実務教育出版 及びプリント配布。	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
社会時事I	井上	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	現代社会の諸問題である環境破壊、労働者の権利、社会保障などについて基礎的な知識を身につける。さらにこうした知識を活かして、公務員となった際に直面する少子高齢化や社会保障制度の問題点について理解を深める。とくに待機児童問題や深刻化する介護問題、医療など、実際の自治体の取り組みも示しながら、公民そして公務員としての資質を高めていく。

授業内容
<p>基本となる経済のしくみを講義で学び、単元ごとに頻出する用語を確認する。さらに簡単な文章問題や、テキストおよび過去の問題を解いて正誤を判断し知識を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境破壊と保全（地球環境問題、国連の会議と対策、温暖化対策とパリ協定、その他の取り組み）4回 ・資源とエネルギー（日本の一次エネルギーの状況、再生可能エネルギー、電力と自由化）3回 ・公害とリサイクル（日本の四大公害、環境保護の法令と新たな取り組み、各種リサイクル法）3回 ・労働者の権利（労働基本権、労働基準法、労働組合法と不当労働行為、争議の調整）4回 ・労働環境の現状（日本型雇用の崩壊、さまざまな雇用形態、女性の雇用、外国人労働者）3回 ・少子高齢化（少子化率と高齢化率、子育て対策と介護保険制度）3回 ・社会保障のあゆみ（各国の社会保障制度、財源構成、日本の社会保障制度）4回 ・社会保険とその現状（年金制度と近年の改正点、医療保険制度）3回 ・その他（消費者問題、消費者行政、食料と農業問題、情報通信技術の発達）3回

テキスト	事前学習	事後学習
『新・初級スーパー過去問ゼミ 社会科学』実務教育出版	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
倫理公共I	後藤	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	各分野の基礎知識を講義した後、その分野に関する演習問題を解説して基礎知識を定着させ、応用力を養成する。

授業内容	
第1～8回	ギリシャ哲学・キリスト教・イスラム・仏教・中国思想
第9～16回	ヨーロッパ近代思想・現代思想
第17～23回	日本思想・現代社会の特質・青年期の問題
第24～26回	環境問題・社会保障
第27～30回	問題演習

テキスト	事前学習	事後学習
①オリジナルテキスト ②『新・初級スーパー過去問ゼミ社会科学』（実務教育出版）	不要	必要

評価方法・基準
月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5　3分野正解：4　1～2分野正解：3　それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
地理I	本田	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	公務員一次試験の合格を目指し、正解率を上げる。また、世界の国々に興味を持ち、教養を身につけ、現代社会の問題を広い視野で多角的に考察できるようにする。

授業内容																	
<ul style="list-style-type: none"> ・過去問を基本にポイントを整理し、演習を行う ・授業の最初に、前の授業のチェックテストを行い知識を定着させる ・以下の順で授業を行う。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1,2,3－世界の気候・日本の気候</td> <td style="width: 50%;">21,22,23－ヨーロッパ</td> </tr> <tr> <td>4,5,6－世界の農牧業・日本の農牧業</td> <td>24,25,26－南北アメリカ・オセアニア</td> </tr> <tr> <td>7,8,9－世界の地形・日本の地形</td> <td>27,28－世界の国々・民族・宗教他</td> </tr> <tr> <td>10,11－資源・工業</td> <td>29,30－総復習</td> </tr> <tr> <td>12,13－地図・時差</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14,15－世界の山・川</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16,17,18－アジア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19,20－アフリカ</td> <td></td> </tr> </table>		1,2,3－世界の気候・日本の気候	21,22,23－ヨーロッパ	4,5,6－世界の農牧業・日本の農牧業	24,25,26－南北アメリカ・オセアニア	7,8,9－世界の地形・日本の地形	27,28－世界の国々・民族・宗教他	10,11－資源・工業	29,30－総復習	12,13－地図・時差		14,15－世界の山・川		16,17,18－アジア		19,20－アフリカ	
1,2,3－世界の気候・日本の気候	21,22,23－ヨーロッパ																
4,5,6－世界の農牧業・日本の農牧業	24,25,26－南北アメリカ・オセアニア																
7,8,9－世界の地形・日本の地形	27,28－世界の国々・民族・宗教他																
10,11－資源・工業	29,30－総復習																
12,13－地図・時差																	
14,15－世界の山・川																	
16,17,18－アジア																	
19,20－アフリカ																	

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
日本史I	武蔵	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	<p>(1)わが国の歴史をテキスト・資料に基づいて地理的な条件や日本の周辺国からの視点も関連付けて総合的に考察する。</p> <p>(2)各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深める。</p> <p>(3)歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる公務員としての自覚と資質を養う。</p>

授業内容
<p>テーマ1 インTRODクシヨN試験に出やすい時代と分野</p> <p>テーマ2 律令国家 成立～崩壊のながれ、古代の文化</p> <p>テーマ3 武家政権 鎌倉～室町幕府 武家中心の文化</p> <p>テーマ4 戦国時代 群雄割拠～織豊政権へ 南蛮文化</p> <p>テーマ5 幕藩体制 江戸時代の政治・文化</p> <p>テーマ6 明治維新</p> <p>テーマ7 大正・昭和</p> <p>テーマ8 太平洋戦争後の改革 昭和～平成～そして令和へ</p> <p>テーマ9 テーマ史</p>

テキスト	事前学習	事後学習
<p>①オリジナルテキスト</p> <p>②『日本史のアーカイブ』（とうほう）</p>	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
世界史I	本田	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	公務員一次試験の合格を目指し、正解率を上げる。また、世界史に興味を持ち、歴史的な視点や教養を身につけ、現代社会の問題を広い視野で多角的に考察できるようにする。

授業内容																	
<ul style="list-style-type: none"> ・過去問を基本にポイントを整理し、演習を行う ・授業の最初に、前の授業のチェックテストを行い知識を定着させる ・以下の順で授業を行う。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1,2-中国史近代以前</td> <td style="width: 50%;">17,18-近代ヨーロッパ・19世紀</td> </tr> <tr> <td>3,4-古代文明・オリエント</td> <td>19.20-20世紀前半</td> </tr> <tr> <td>5,6-古代ヨーロッパ</td> <td>21,22-20世紀後半</td> </tr> <tr> <td>7,8-中世ヨーロッパ</td> <td>23,24-イスラーム</td> </tr> <tr> <td>9,10-十字軍・ルネサンス</td> <td>25,26-テーマ史</td> </tr> <tr> <td>11,12-大航海時代・宗教改革</td> <td>27,28,29,30-総復習</td> </tr> <tr> <td>13,14-絶対王政</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15,16-市民革命</td> <td></td> </tr> </table>		1,2-中国史近代以前	17,18-近代ヨーロッパ・19世紀	3,4-古代文明・オリエント	19.20-20世紀前半	5,6-古代ヨーロッパ	21,22-20世紀後半	7,8-中世ヨーロッパ	23,24-イスラーム	9,10-十字軍・ルネサンス	25,26-テーマ史	11,12-大航海時代・宗教改革	27,28,29,30-総復習	13,14-絶対王政		15,16-市民革命	
1,2-中国史近代以前	17,18-近代ヨーロッパ・19世紀																
3,4-古代文明・オリエント	19.20-20世紀前半																
5,6-古代ヨーロッパ	21,22-20世紀後半																
7,8-中世ヨーロッパ	23,24-イスラーム																
9,10-十字軍・ルネサンス	25,26-テーマ史																
11,12-大航海時代・宗教改革	27,28,29,30-総復習																
13,14-絶対王政																	
15,16-市民革命																	

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
数学I	河野	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	高校数学の基礎を習得し、公務員試験の問題への対応力をつける

授業内容		
基本問題と公務員試験の過去問などの小テストと基本事項をまとめたテキストにより主に数学I、数学Aの指導を行う。		
	(単元)	(回数)
数学I	数と式	4コマ
	2次関数	4コマ
	図形と計量	5コマ
数学A	場合の数と確率	3コマ
	図形の性質	2コマ
	整数	1コマ

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	推奨	推奨

評価方法・基準
月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5　3分野正解：4　1～2分野正解：3　それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
化学・物理 I	三藤	1	前期	必修	15

授業形態	授業目標
物理	物理の基礎となる力学の基礎知識について学び、科学的な見方や自然観を育成する。
化学	物質に関する基本的な概念や原理・法則について学び、現代の生活を支える化学の役割や物質と人間生活との関わりについて考えさせる。

授業内容
<p>【物理】</p> <p>SECTION1 いろいろな力、力のつり合い</p> <p>SECTION2 運動①（速度、等速直線運動、加速度、等加速度直線運動）</p> <p>SECTION3 運動②（重力加速度、自由落下運動、鉛直投下運動、鉛直投上運動、水平投射）</p> <p>SECTION4 運動③（ニュートンの運動の法則、仕事、力学的エネルギー）</p> <p>【化学】</p> <p>SECTION1 物質の構成（物質の分類、元素、周期表、同素体、原子の構造、同位体、イオン）</p> <p>SECTION2 化学結合（イオン結合、共有結合、金属結合、水素結合）</p> <p>SECTION3 物質の状態変化（物質の三態）</p> <p>SECTION4 無機化学、日常生活と物質（合金やプラスチックなど）</p> <p>SECTION5 物質量、化学反応式</p> <p>SECTION6 酸・塩基</p> <p>SECTION7 酸化・還元</p>

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
生物・地学 I	川副	1	前期	必修	30

授業形態		授業目標
生物分野	講義および演習	生物界における生命現象の特徴を、①細胞（構造と機能）、②個体（生命の維持・活動・継続）、③生態系の順に理解を深め、初級公務員試験問題に対応する力を養う。併せて、社会生活における自然科学分野の課題に対して、その本質を把握して対応できる力を養う。
地学分野	講義および演習	ヒトの生活圏に影響を及ぼす地球及び宇宙の事象の特徴を、①地球（構造・地質・地震）、②火山と岩石、③気象現象、④宇宙の順に理解を深め、初級公務員試験問題に対応する力を養う。併せて、社会生活における自然科学分野の課題に対して、その本質を把握して対応できる力を養う。

授業内容																																		
<p>講義の最初にテキストを用いた例題演習及び解説を行った後に、プリントを用いた詳細な講義を実施する。 講義の後半で、テキストを用いた練習問題及び発展問題の演習を行い、知識の定着と応用力の獲得を目指す。</p> <p>生物分野：全15回の講義は、以下のテーマの順で行う</p> <table border="0"> <tr> <td>① 呼吸と発酵（異化）</td> <td>⑨ 免疫システム</td> </tr> <tr> <td>② 自己複製（体細胞分裂）</td> <td>⑩ 感覚受容器と中枢神経系</td> </tr> <tr> <td>③ タンパク質の合成</td> <td>⑪ 減数分裂と有性生殖</td> </tr> <tr> <td>④ 消化と酵素</td> <td>⑫ さまざまな遺伝</td> </tr> <tr> <td>⑤ 葉緑体と光合成（同化）</td> <td>⑬ 植物ホルモンと光周性</td> </tr> <tr> <td>⑥ 心臓と血液循環</td> <td>⑭ 植生の遷移と生態系</td> </tr> <tr> <td>⑦ 肝臓と腎臓</td> <td>⑮ 実践問題演習</td> </tr> <tr> <td>⑧ 自律神経とホルモン</td> <td></td> </tr> </table> <p>地学分野：全15回の講義は、以下のテーマの順で行う</p> <table border="0"> <tr> <td>① 地球の構造</td> <td>⑨ 高気圧と低気圧</td> </tr> <tr> <td>② 地震</td> <td>⑩ 気団と日本の気候</td> </tr> <tr> <td>③ プレートと地形</td> <td>⑪ 前線と天気図</td> </tr> <tr> <td>④ 地質時代と化石</td> <td>⑫ 地球の自転と公転</td> </tr> <tr> <td>⑤ 火山と火成岩</td> <td>⑬ 恒星と地上での見え方</td> </tr> <tr> <td>⑥ 堆積岩と変成岩</td> <td>⑭ 太陽と惑星</td> </tr> <tr> <td>⑦ 大気圏</td> <td>⑮ 実践問題演習</td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気の循環と海流</td> <td></td> </tr> </table>			① 呼吸と発酵（異化）	⑨ 免疫システム	② 自己複製（体細胞分裂）	⑩ 感覚受容器と中枢神経系	③ タンパク質の合成	⑪ 減数分裂と有性生殖	④ 消化と酵素	⑫ さまざまな遺伝	⑤ 葉緑体と光合成（同化）	⑬ 植物ホルモンと光周性	⑥ 心臓と血液循環	⑭ 植生の遷移と生態系	⑦ 肝臓と腎臓	⑮ 実践問題演習	⑧ 自律神経とホルモン		① 地球の構造	⑨ 高気圧と低気圧	② 地震	⑩ 気団と日本の気候	③ プレートと地形	⑪ 前線と天気図	④ 地質時代と化石	⑫ 地球の自転と公転	⑤ 火山と火成岩	⑬ 恒星と地上での見え方	⑥ 堆積岩と変成岩	⑭ 太陽と惑星	⑦ 大気圏	⑮ 実践問題演習	⑧ 大気の循環と海流	
① 呼吸と発酵（異化）	⑨ 免疫システム																																	
② 自己複製（体細胞分裂）	⑩ 感覚受容器と中枢神経系																																	
③ タンパク質の合成	⑪ 減数分裂と有性生殖																																	
④ 消化と酵素	⑫ さまざまな遺伝																																	
⑤ 葉緑体と光合成（同化）	⑬ 植物ホルモンと光周性																																	
⑥ 心臓と血液循環	⑭ 植生の遷移と生態系																																	
⑦ 肝臓と腎臓	⑮ 実践問題演習																																	
⑧ 自律神経とホルモン																																		
① 地球の構造	⑨ 高気圧と低気圧																																	
② 地震	⑩ 気団と日本の気候																																	
③ プレートと地形	⑪ 前線と天気図																																	
④ 地質時代と化石	⑫ 地球の自転と公転																																	
⑤ 火山と火成岩	⑬ 恒星と地上での見え方																																	
⑥ 堆積岩と変成岩	⑭ 太陽と惑星																																	
⑦ 大気圏	⑮ 実践問題演習																																	
⑧ 大気の循環と海流																																		
テキスト	事前学習	事後学習																																
オリジナルテキスト	不要	必要																																

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
文章理解 英語I	内	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	(1) 一定数の単語・熟語の暗記 (2) 基本的な英文法の理解 (3) 上記2項目を土台にした英文読解

授業内容
1,2-英文構造理解 3-基本問題演習+英文法(時制) 4-基本問題演習+英文法(助動詞) 5-基本問題演習+英文法(態) 6-基本問題演習+英文法(不定詞・動名詞) 7-基本問題演習+英文法(分詞) 8-基本問題演習+英文法(比較) 9-基本問題演習+英文法(関係代名詞) 10-基本問題演習+英文法(仮定法) 11-基本問題演習+英文法(名詞・代名詞) 12-基本問題演習+英文法(接続詞・前置詞) 13~20-過去問演習(国家一般職) 21~25-過去問演習(地方初級) 26~30-過去問演習(警察官・消防士)

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	必要

評価方法・基準
月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
文章理解 国語I	飯島	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義および演習	文章の正しい読解を通して、公務員試験における文章理解国語の問題が解けるようになると共に、論理的思考力を身につける。

授業内容		
期間前半では公務員試験における文章理解国語問題の「内容把握問題」「要旨把握問題」「文章整序問題」「空欄補充問題」を分野別に扱い、演習と講義で正しい読解の方法や解き方を学ぶ。期間後半では、本番形式で演習を行い、実践力をつける。		
内容把握問題	前期1～5	内容把握問題の解き方解説講義・演習
	前期6	内容把握問題実力テスト
文章整序問題	前期7～9	文章整序問題の解き方解説講義・演習
	前期10	文章整序問題実力テスト
空欄補充問題	前期11～13	空欄補充問題の解き方解説講義・演習
	前期14	空欄補充問題実力テスト
要旨把握問題	前期15～18	要旨把握問題の解き方解説講義・演習
	前期19	要旨把握問題実力テスト
実践演習	前期20～29	全分野の実践演習
期末テスト	前期30	全分野期末テスト

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	必要

評価方法・基準
月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
判断推理I	永野	1	前期	必修	60

授業形態	授業目標
テキストを使っての生講義及び補足・演習 プリントによる授業	(1) 各単元の問題別の解法パターンの習得 (2) 短時間で解けるようになるように速解テクニックをマスターさせる

授業内容
<p>判断推理は、これまでの学校生活で習ったことがない内容が多く一見難しそうに見えるが、実際には問題を要領よく解くための「解法パターン」が存在している科目であるので、授業では「解法パターン」を紹介することで初学者でも簡単に解けてしまう成功体験を積み上げさせていく。段階的な指導では、全60回の講義構成で次の表の順に指導していく。</p> <p>1～6回 論理式・3集合ベン図・キャロル表・線分図・モデル化 7～12回 定性・定量的順序関係・差異条件問題・タイムラグ問題 13～18回 平面的位置関係・空間的位置関係・方位問題 19～26回 2集合対抗関係・多集合対応関係（対応表・モデル化） 27～32回 リーグ戦・トーナメント戦 33～38回 証言問題・ディラック問題 39～43回 操作手順（油分け算・ハノイの塔・渡河問題・先手必勝・天秤問題） 44～49回 空間把握（平面図形）テトリス問題、折り紙、図形のカウント 50～55回 空間把握（空間図形）展開図、投影図、2つの円、サイコロ 56～60回 1題5分→4分→1題3分と時間を計り「タイムトライアル」による演習</p>

テキスト	事前学習
公務員試験要点整理問題集ポイントマスター判断推理・空間把握（TAC出版）	宿題以外は不要
事後学習	習った問題の再現、上記のカードづくりを通して自分の力で授業のポイントをまとめ自分だけの参考書作りを通しての復習

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
数的推理I	永野	1	前期	必修	60

授業形態	授業目標
テキストを使っての生講義及び補足・演習 プリントによる授業	(1) 数学ではなく算数をベースとした立式しない解法の確立 (2) 短時間で解けるようになるように速解テクニックをマスターさせる (3) 視覚的に捉える学習・比の考え方の定着をはかる

授業内容
<p>数的推理は、数学と違って一般性を持たせる発想をせず途中の過程も問題にしない科目であるため、どのような方法であれ、いかに効率良く時間をかけずに正答にたどり着けるか、その発想・推理力・判断力を算数をベースに段階的に身に付けさせていく。段階的な指導では、全66回の講義構成で次の表の順に指導していく。</p> <p>1~8回 つるかめ算・和差算・不定方程式・植木算・あてはめ法 9~18回 速さの3式・旅人算・通過算流水算・時計算 19~26回 倍数変化算・増減・売買算・濃度・仕事算・ニュートン算 27~34回 順列・組合せ・確率 35~42回 整数問題・魔方陣・数列 43~49回 図形の計量（平面図形）線分の長さ、相似、面積 50~55回 図形の計量（空間図形）体積、展開図、紐かけ問題 56~60回 1題5分→4分→1題3分と時間を計る「タイムトライアル」による演習</p>

テキスト	事前学習
公務員試験要点整理問題集ポイントマスター数的推理・資料解釈（TAC出版）	宿題以外は不要
事後学習	習った問題の再現、上記のカードづくりを通して自分の力で授業のポイントをまとめ自分だけの参考書作りを通しての復習

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。 全4分野正解：5 3分野正解：4 1~2分野正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
資料解釈I	永野	1	前期	必修	15

授業形態	授業目標
講義および演習	(1)与えられた資料の中身を的確に把握する (2)その資料から判断できることとできないことの判別ができるようになる。

授業内容
<p>【資料解釈】</p> <p>(1)テーマ1 表やグラフの見方に慣れる（第1講～4講）</p> <p>(2)テーマ2 表やグラフから判断できることとできないことの判別（第5講～8講）</p> <p>(3)テーマ3 過去問演習（第9講～15講）</p>

テキスト	事前学習	事後学習
プリントを配布	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5　3分野正解：4　1～2分野正解：3　それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
作文	飽本	1	前期	必修	30

授業形態	授業目標
講義・演習と添削指導	公務員試験における作文を、与えられた時間内に的確な内容で論理的かつわかりやすく書くことができる。

授業内容		
授業時間内で600字程度の作文を完成させる。提出後個別添削し、各自、自身の作文の良い点、改善すべき点を見直す。また、クラスの他の生徒の作文を読み、良い点や自分の作文に生かしたい点を学ぶ。加えて、テキストを用いて、短作文・文法問題などに取り組む。		
	時数	テーマ
第1, 2回	2	公務員試験の作文とは
第3回	1	横書原稿用紙の使い方
第4回	1	公務員試験における作文の書き方
第5回	1	NG作文
第6,7,8回	3	表現力をつけよう
第9回	1	敬語、ことわざの知識
第10,11回	2	語彙・四字熟語テスト
第12,13回	2	高校時代の部活動の思い出
第14,15回	2	私を成長させてくれた出来事について
第16,17回	2	これまで最も感動した出来事について
第18,19回	2	他人に対する配慮について
第20,21回	2	災害に対する心構えについて
第22,23回	2	あなたがこれから身につけたいと思う力
第24,25回	2	働くことの意義について
第26,27回	2	地域の人々から信頼される職員となるために
第28,29回	2	社会に出て働くということ
第30回	1	総合テスト

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	不要

評価方法・基準
全7回提出の作文の内容（評価）をもとに5段階評価を行う

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
適性試験I	武蔵	1	前期	必修	98

授業形態	授業目標
演習	公務員試験特有の事務適性試験の練習・問題演習を徹底して繰り返すことで、高得点を目指す。

授業内容	
(1) 基礎編	30コマ
(2) 応用編	30コマ
(3) 実戦（過去問）編	30コマ
(4) 市町村過去問	8コマ
あらゆるパターンの出題に対応できるよう、練習・演習を繰り返します。	

テキスト	事前学習	事後学習
適性試験過去問	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

◆実務経験のある教員等による授業科目に該当する

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
面接・公務員 仕事探求I	竹島 現役公務員の方々	1	前期	必修	28

授業形態	実務経験のある教員による授業	授業目標
実習 講義	現職の公務員の方々による講座をコーディネートしていく。仕事内容や現場でのやりがい、苦労話などを聞き、公務員の仕事を実感していく場とする。	様々な公務員の仕事内容を知り、現職公務員の方々による説明を聞くことにより、目標を定める一助とする。さらに職種研究を通して職業観を養っていく。また、人物試験対策を通して、自己理解を深め、求められる人物像に近づくための努力をする。

授業内容	
各種公務員の仕事内容やりがい、苦労などについて、現職公務員の方々による説明会を行う。また、人物試験の内容を把握し、エントリーシートの書き方やマナー、求められる人物像について、説明をしていく。	
Theme1	自己紹介・自己表現
Theme2	公務員試験説明会（壺溪塾講師）
Theme3	自衛隊説明会（自衛隊地方協力本部）
Theme4	海上保安学校学生説明会（海上保安庁職員及び壺溪塾講師）
Theme5	裁判所説明会（裁判所職員及び壺溪塾講師）
Theme6	東京消防庁説明会（東京消防庁職員及び壺溪塾講師）
Theme7	刑務官・入国警備官説明会（壺溪塾講師）
Theme8	国家一般職・税務職採用試験説明会（壺溪塾講師）
Theme9	警察消防ガイドブック説明会（壺溪塾講師）
Theme10	熊本県説明会（熊本県人事委員会事務局）
Theme11	熊本市説明会（熊本市人事委員会事務局）
Theme12	熊本県警説明会（熊本県警警務部警務課採用係）
Theme13	市町村役場説明会（各市町村担当者及び壺溪塾講師）
Theme14	面接対策説明会（壺溪塾講師）
Theme15	面接カードの書き方（厚生労働省・ヤングハローワーク）
Theme16	職場マナー・必要とされる人材とは（壺溪塾講師）
Theme17	集団討論説明会（壺溪塾講師）
Theme18	国家公務員各官庁説明会（防衛省・労働局・出入国在留管理局等）
Theme19	税務説明会（熊本西税務署）

テキスト	事前学習	事後学習
各署からの資料及び壺溪塾作成プリント、動画視聴など	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位
特別講座 I	各科目講師及び担任	1	前期	必修	56

授業形態	授業目標
講義および演習	各自治体及び職種において、特別に出題される問題を中心に講義および演習を行う。
問題演習及び授業の確認テスト	解答速度を上げるため、補充問題で演習を行う。また、「定着度テスト」、「期末試験（一部科目）」を実施して、授業の理解度を図る。

授業内容	
<p>特別ゼミ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市における要約や時事等の出題内容に沿った問題解説及び演習講座。 ・各職種における専門分野等の出題内容に沿った問題解説及び演習講座。 ・各職種における適性検査等の出題内容に沿った問題解説及び演習講座。 	<p>問題演習／確認テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断推理,数的推理 補講（全14回） ・模擬試験解説授業（全6回） ・熊本市 時事ゼミ ・熊本市 要約ゼミ ・期末試験（理科・数的推理・判断推理） 物理・化学・生物・地学の期末試験を実施（2回） 数的推理・判断推理の期末試験を実施（1回）

テキスト	事前学習	事後学習
プリントを配付	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
模試演習I	船津	1	前期	必修	64

授業形態	授業目標
過去問題演習 解説講義	公務員試験の過去問を本番形式で取り組み、適正な時間配分と解答方法を身に付ける。

授業内容	
(1) 公務員模擬試験 1 (2) 定例問題演習 1 (3) 定例問題演習 2 (4) 公務員模擬試験 2 (5) 解説講義 (6) 解説講義 (7) 定例問題演習 3 (8) 定例問題演習 4 (9) 定例問題演習 5 (10) 公務員模擬試験 3 (11) 解説講義 (12) 解説講義 (13) 定例問題演習 6 (14) 公務員模擬試験 4 (15) 解説講義	(16) 解説講義 (17) 定例問題演習 7 (18) 定例問題演習 8 (19) 定例問題演習 9 (20) 公務員模擬試験 5 (21) 解説講義 (22) 解説講義 (23) 定例問題演習 10 (24) 定例問題演習 11 (25) 定例問題演習 12 (26) 公務員模擬試験 6 (27) 解説講義 (28) 解説講義 (29) 定例問題演習 13 (30) 定例問題演習 14 ※ 1回が約2時間分に相当します。単位時間数の合計は62.4時間。

テキスト	事前学習	事後学習
「高校卒業程度・公務員模擬試験」(全6回)実務教育出版 公務員試験過去問+壺溪塾オリジナル解説	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

公務員専攻科（後期）

専修学校熊本壺溪塾

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
情報処理基礎	船津	1	後期	必修	20

授業形態	授業目標
講義および演習	(1)タイピングに慣れる (2)WORDの基本的な操作を習得する (3)EXCELの基本的な操作を習得する (4)EXCELの基本的な関数を使えるようになる。

授業内容
(1) タイピング練習… 1回 (2) WORD…情報処理検定3級程度の演習… 1回 (3) WORD…情報処理検定準2級程度の演習… 3回 (4) EXCEL…情報処理検定3級程度の演習… 2回 (5) EXCEL…ROUND関数/IF関数/VLOOKUPなどの関数を学ぶ…3回 (6) EXCEL…ピボットテーブルを使ってデータを集計する… 2回 (7) EXCEL…VBAを使ってファイルを操作する… 2回

テキスト	事前学習	事後学習
授業の冒頭でレジュメを配付	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
文書の書き方	飽本	1	後期	必修	8

授業形態	授業目標
講義・実習	様々な文書の書き方を学ぶことで、日常における常識や社会人としての文書マナーを身に付けることを目的とする。

授業内容		
文書の常識を身に付けるために、様々な文書を実際書いて演習をする。授業ごとに、文書を作成し、提出をしていく。		
Theme1	1~3	日常生活の手紙とその基本書式
		封書によるもの
		はがきによるもの
		定型、時候の挨拶
Theme2	4~6	業務用文書の書き方（社交）
		挨拶状/様々なご案内
		役所、会社などのケース
		ビジネス文書の基本と社内文書の管理
公文書とその管理		
Theme3	7	稟議書の書き方
Theme4	8	始末書の書き方、その他まとめ

テキスト	事前学習	事後学習
授業の冒頭でレジュメを配付	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
法律	後藤	1	後期	必修	7

授業形態	授業目標
講義・実習	・公務員を目指す者として不可欠な法律の基礎知識を習得する

授業内容	
第1回	六法全書の読み方
第2,3回	刑法犯にならないために
第4,5回	現代人に必要な法律常識
第6,7回	国際法の基礎
第8回	法律学の復習テスト

テキスト	事前学習	事後学習
授業の冒頭でレジユメを配付	不要	配付プリントを精読

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
手話	後藤	1	後期	必修	3

授業形態	授業目標
講義・実習	・手話表現の最小限度の基礎知識と技能を習得する

授業内容	
第1回	手話の基礎
第2回	手話復習プリント演習

テキスト	事前学習	事後学習
授業の冒頭でレジユメを配付	不要	配付プリントを精読

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
マナー・事務管理・校外学習	木庭・後藤・担任	1	後期	必修	16

授業形態	授業目標
講義・実習	社会人として必要とされるマナー、事務管理についての基礎知識を学び、公務員として必要な基盤を備えることを目的とする。

授業内容			
職場でのマナー、事務的作業のノウハウ、公文書の書き方の基礎を学ぶ。また、校外学習として地域ボランティアを行い、社会貢献への意識を高める。			
Theme1	1	職場マナー I	職場におけるマナーが他の職員とのコミュニケーションをとる上で重要なことを認識する。敬語（尊敬語・謙譲語）の使い方を演習する。
	2		
	3	職場マナー II	
	4		
Theme2	5	事務管理 I	仕事への取組み
	6	事務管理 II	仕事の基本となる8つの意識（仕事に対する基本姿勢）
	7	事務管理 III	ビジネス文書の基本と社内文書の書き方
	8	事務管理 IV	会社で扱う文書 社外文書の特徴と基本構成
	9	事務管理 V	復習テスト
Theme3	10~12	校外学習	地域での清掃活動

テキスト	事前学習	事後学習
授業の冒頭でレジユメを配付	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
課題研究	船津	1	後期	必修	11

授業形態	授業目標
講義・演習	課題を選択し、校外での活動を通して新しい知識や学びを得る。また、活動内容をレポートとしてまとめ報告する。

授業内容
<p>以下の4つより1つを選択し、活動内容及び学んだことなどを報告書にまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア ・施設見学 ・イベント等への参加 ・裁判の傍聴

テキスト	事前学習	事後学習
なし	不要	必要

評価方法・基準
期限までに報告書の提出が必須

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位時間数
未来への伝言	後藤	1	後期	必修	5

授業形態	授業目標
講義	現代社会におけるさまざまな課題やテーマに関する資料を読み、学んだことをレポートにまとめる。

授業内容
事前にテーマ及び資料を配付するので、クラス担任より受け取って各自取り組むこと

テキスト	事前学習	事後学習
なし	不要	必要

評価方法・基準
期限までに報告書の提出が必須